

問1 江戸時代の統治の仕組みを解説した資料において、「江戸に置かれた中央政府が全国を支配し、各地の領主である大名が自分の領地を統治した」という記述があります。この文中の「江戸に置かれた中央政府」を指す言葉として正しいものを選びなさい。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 幕府 2. 朝廷 3. 院 4. 五大老

問2 鎌倉幕府が「永仁の徳政令」を発令せざるを得なくなった背景と、その法令の内容についての説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 和歌山公立入試 類似）

1. 元寇での軍役負担により生活が苦しくなった御家人のため、売却・質入れた土地を無償で取り戻させた。
2. 承久の乱で勝利した恩賞として、御家人が没収した土地を自由に売買することを許可した。
3. 御家人同士の土地争いを防ぐため、領地の相続を嫡子（跡継ぎ）一人に限ることを命じた。
4. 貨幣経済の浸透に対応するため、年貢を米ではなく現金で納めることを全国の御家人に推奨した。

問3 1232年（貞永元年）、鎌倉幕府の3代執権であった北条泰時が、御家人たちの間で増えていた土地の争いなどを公平に裁く基準を示すために制定した、日本で最初の武家独自の法律を何といいますか。（2025年 静岡公立入試 類似）

1. 御成敗式目 2. 憲法十七条 3. 大宝律令 4. 公事方御定書

問4 鎌倉幕府を開いた源頼朝が、奥州藤原氏を攻め滅ぼした歴史的背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2019年 滋賀公立入試 類似）

1. 頼朝と対立して平泉へ逃れた弟の源義経を、奥州藤原氏が保護したため。
2. 奥州藤原氏が京都の朝廷と密かに結び、鎌倉幕府を打倒する計画を立てたため。
3. 北上川流域で産出される金の独占権をめぐり、幕府と朝廷が対立したため。
4. 奥州藤原氏がモンゴル帝国の侵攻に備えるための軍役に拒否したため。

問5 「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」という有名な一節で始まり、平氏一門の繁栄と滅亡を描いた軍記物語があります。この物語を、琵琶を弾きながら各地で語り歩き、広く民衆に伝えた人々の名称として正しいものはどれですか。（2022年 鳥取公立入試 類似）

1. 琵琶法師 2. 時衆 3. 念仏聖 4. 連歌師

問6 鎌倉時代末期、生活が困窮した武士などが幕府や荘園領主の支配に従わなくなり、武装して年貢を奪うなどの抵抗活動を行うようになりました。このような、既存の支配体制を乱した集団を当時の領主側は何と呼びましたか。（2018年 茨城県公立入試 類似）

1. 悪党 2. 蝦夷 3. 公領 4. 御家人

問7 鎌倉時代初期、ある御家人の領地が5人の子供に分けられ、それぞれが元の領地の一部を継承したとする状況を想定します。このような相続のあり方について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 茨城県公立入試 類似）

1. 女子も相続の対象に含まれており、親の領地を分散して受け継ぐことができた。
2. 長男一人がすべての領地を独占し、他の兄弟や女子は一切の財産を得られなかった。
3. 領地はすべて幕府が一度回収し、軍功のあった者だけに改めて分配された。
4. この方法は御家人の基盤を安定させたため、室町時代以降も広く推奨された。

問8 北条泰時が、武士の社会における慣習や道徳を整理して「御成敗式目」を制定した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 武士同士の領地争いなどに対して、公平な裁判の基準を示すため
2. 天皇や貴族の生活を厳しく制限し、幕府が朝廷を完全に支配するため
3. 農民に対して土地の売買を禁止し、年貢を確実に納めさせるため
4. 將軍の跡継ぎ問題を解決するために、北条氏の権力を強化するため

問9 13世紀、モンゴル帝国の第5代皇帝であるフビライ・ハンに長年仕えたイタリア出身の旅行家で、帰国後にアジア各地の情勢を「東方見聞録」としてまとめた人物は誰ですか。（2026年 青森公立入試 類似）

1. マルコ・ポーロ 2. イブン・バトゥータ 3. ヴァスコ・ダ・ガマ 4. 北条泰時

答え合わせ・解説

問1	答え 1 幕府	徳川氏が將軍として君臨する中央政府を「幕府」と呼び、これと各地の大名が治める「藩」を組み合わせた統治体制を幕藩体制と呼びます。武士が政治を行う組織としての幕府は、天皇を中心とする朝廷から政治を委ねられるという形式をとりつつ、実際には全国の法や外交、貨幣の鑄造などを独占的に管理していました。
問2	答え 1 元寇での軍役負担により生活が苦しくなった御家人のため、売却・質入れした土地を無償で取り戻させた。	元寇は外国からの侵略を退ける防衛戦であったため、幕府は新たに獲得した土地を御家人に恩賞として分配することができませんでした。多額の軍費を自ら負担した御家人たちは借金を抱え、土地を質入れしたり売却したりして生活をしのいでいたため、幕府はそれらの土地を返還させることで御家人の基盤を維持しようとしてきました。
問3	答え 1 御成敗式目	承久の乱の後、幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、領地をめぐる訴訟が急増しました。これに対し、北条泰時は武士の社会でそれまで慣習として行われてきた「道理」や「先例」を明文化し、公平な裁判の基準を定めました。制定された当時の年号から「貞永式目」とも呼ばれます。
問4	答え 1 頼朝と対立して平泉へ逃れた弟の源義経を、奥州藤原氏が保護したため。	源頼朝は、自分と対立した弟の源義経を奥州藤原氏が受け入れたことを口実に、奥州（現在の岩手県など）へ出兵しました。これにより、三代にわたって栄華を誇った奥州藤原氏は滅亡することとなりました。
問5	答え 1 琵琶法師	鎌倉時代に成立した『平家物語』は、仏教的な無常観を背景に、平氏の興亡を描いた作品です。文字が読めない人々にも、琵琶の伴奏に合わせて物語を語る琵琶法師によって語り継がれたことで、広く普及しました。選択肢にある念仏聖は空也などが有名ですが、これは平安時代中期に浄土教を広めた人々を指します。
問6	答え 1 悪党	鎌倉時代後半、分割相続による領地の細分化や、元寇（モンゴル襲来）後の恩賞不足によって、多くの武士の生活が苦しくなりました。その中で、幕府や荘園領主の命令に従わず、実力で年貢を奪ったり武装して反抗したりする勢力が現れました。領主側は彼らを既存の秩序を破る「悪」の集団と見なしてこのように呼びました。
問7	答え 1 女子も相続の対象に含まれており、親の領地を分散して受け継ぐことができた。	鎌倉時代初期の「分割相続」では、女子にも領地を分ける権利が認められていたことが大きな特徴です。しかし、この仕組みは世代が進むにつれて個々の御家人が持つ領地を著しく減少させることになり、元寇（モンゴル襲来）による出費などの負担も重なって、御家人の生活を苦しめる要因となりました。その結果、時代が下るにつれて長男などが一括して受け継ぐ「単独相続」へと変化していきました。
問8	答え 1 武士同士の領地争いなどに対して、公平な裁判の基準を示すため	鎌倉幕府の支配力が全国に広がるにつれ、武士の間で土地をめぐる複雑な争いが増加しました。北条泰時は、武士社会の「ならわし」に基づいた明確なルールを文書化することで、身分の上下に関係なく、納得感のある公平な裁判が行えるようにすることを目指しました。この法律は、のちの室町幕府や戦国大名が定めた分国法にも大きな影響を与えました。
問9	答え 1 マルコ・ポーロ	ヴェネツィア出身の商人であるマルコ・ポーロは、元（モンゴル帝国）を訪れてフビライ・ハンに重用されました。彼がアジアでの見聞を記した「東方見聞録」は、当時のヨーロッパの人々に東アジアへの関心を抱かせる大きなきっかけとなりました。選択肢にあるイブン・バットウータは14世紀のイスラム世界の旅行家、北条泰時は日本の鎌倉幕府第3代執権です。